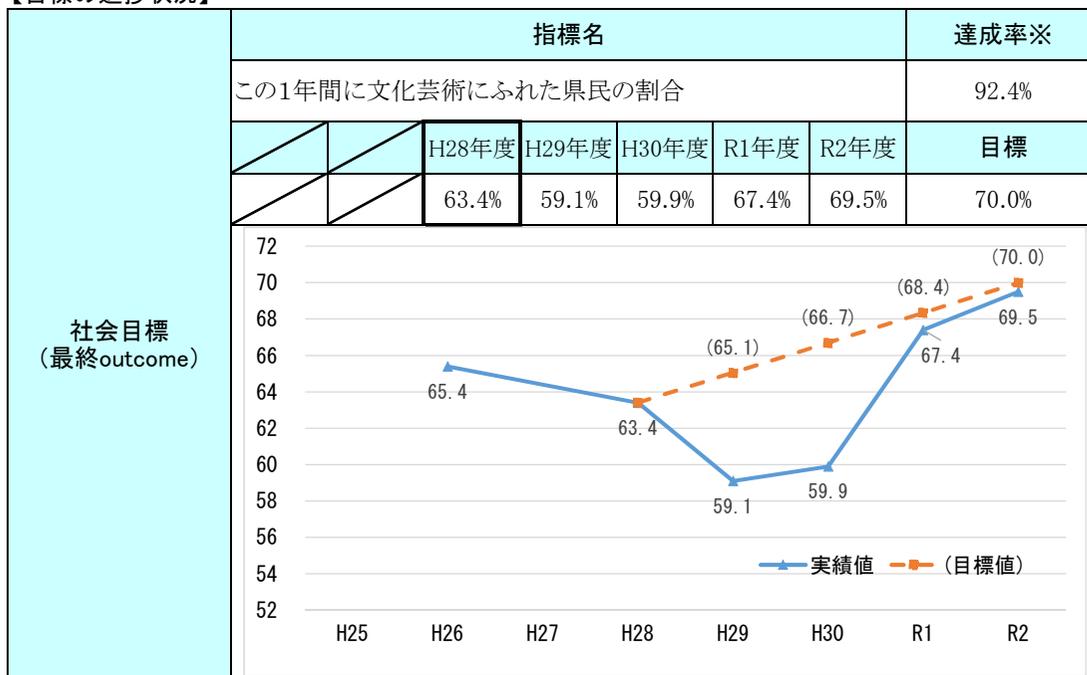


総合計画政策評価帳票
(様式2-1)施策評価シート

【施策概要】

施策名	ちば文化の創造と千葉県民のアイデンティティーの醸成		施策主務課	環境生活部県民生活・文化課	施策コード	I-4-①
総合計画の位置づけ	I 安全で豊かな暮らしの実現		4 文化とスポーツで輝く社会づくり			
施策目標(定性目標)	県民や関係団体、市町村などと連携して、「ちば文化」に親しめる環境をつくるとともに、「ちば文化」を継承し、新たな「ちば文化」を創造します。県民の千葉県に対する愛着や誇りを育みます。					
社会目標(定量目標)	この1年間に文化芸術にふれた県民の割合		-			
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	3,264,171	3,353,668	3,481,772	3,678,172	
	決算額(千円)	3,202,407	3,310,319	3,423,858	3,254,130	
施策内の主な取組	取組名			令和2年度予算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
	1 文化芸術を鑑賞・参加・創造する環境づくり			127,748	83,079	
	2 地域文化の保存・継承・活用による地域づくり			496,228	474,985	
	3 ちば文化の多様性と発信力強化による新たな価値の創出			134,323	62,471	
	4 ちば文化の総合的な推進のための支援・連携体制の構築			1,924,251	1,891,517	
	5 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたちばの文化力向上			995,622	742,078	
施策計			3,678,172	3,254,130		

【目標の進捗状況】



※太枠で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値。 ※達成率=(令和2年度の実績値-目標設定時の現状値)÷(目標値-目標設定時の現状値) ※グラフ上の数値は端数処理により表記。

行政活動目標 及び 補助指標	進展度		
	(達成数/設定数) = 1 / 15		

【主な実施事項と成果】

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県文化芸術の推進を図るため、「千葉県文化芸術の振興に関する条例」が平成30年10月に施行され、文化芸術推進基本計画の策定が県の責務とされたことから、計画策定に向け、文化芸術団体や有識者による「ちば文化芸術振興懇談会」において計画の柱立て等について意見をいただきました。 平成28年度後半から、東京オリンピック・パラリンピック大会の機運醸成のため、公認文化オリンピックアード(※)の認証が開始され、千葉県でも、県内の文化芸術活動を牽引するシンボリックな事業として、「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』PR事業」及び「ちばアート祭」を実施しました。また、「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』PR事業」では、平成30年度に選定した「ちば文化資産」を紹介するリーフレットやグッズを作成し周知したほか、フォトコンテストや観光分野と連携したフォトキャンペーン等の実施、SNSによる情報発信、さらに「ちば文化資産」を会場や作品のテーマとしたアートイベント「ちばアート祭」の実施を通じて、県民が県内の多様な文化を再認識するきっかけとなりました。 ※公認文化オリンピックアード:「オリンピック憲章」に基づいて行われる、東京オリンピック・パラリンピック大会の公式文化プログラム。プログラムのうち、大会組織委員会や国、会場所在地公共団体等が実施主体として行う事業が「公認文化オリンピックアード」として認証の対象となる。
-----------	--

【要因分析】

社会目標の 要因分析	<p>この1年間に文化芸術にふれた県民の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> この1年間に県内で文化芸術にふれた県民の割合は、前年度に比べて2.1%増加しましたが、目標値には達していませんでした。県では、文化芸術にふれ親しむ様々な機会を提供していますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、普段文化芸術にふれていない、又はもしくはふれる頻度が少ない県民に対して鑑賞・参加を促すことは困難でした。 行政活動目標との関係では、「県立文化会館」や「美術館・博物館」では新型コロナウイルスの感染拡大によるイベントの中止や施設の休館等により入館者数は減少したものの、調査時(※)にオンラインでの鑑賞を含むことを明示したことが割合の増加につながったと考えられます。(※令和2年度第60回県政に関する世論調査)
---------------	---

【課題】

要因分析を 踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> 条例に基づく文化芸術推進基本計画の策定にあたり、県民、文化芸術団体、有識者等の声を幅広く聞きながら、文化施策の方針等を検討していく必要があります。 県立美術館・博物館においては、新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、県民ニーズを踏まえた魅力ある事業を企画して、集客力を高める必要があります。 文化活動ボランティアの登録件数を増加させるためには、事業の広報を行い、文化活動ボランティアを広く周知する必要があります。 公認文化オリンピックアードを含め、文化プログラムへの参加方法や鑑賞機会について、さらに広報を行っていく必要があります。 「千葉・県民音楽祭」は、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため中止しましたが、アマチュア演奏者・障害者団体・合唱団体など、より幅広く多くの県民に参加いただくことを目指し、ダンスなどさらに音楽の分野を拡大し、より多くの県民の文化芸術活動への参加を促していく必要があります。 県内外に千葉の文化的魅力を発信するため、選定した「ちば文化資産」をより一層広く周知・活用していく必要があります。
----------------------------------	--

【取組方針】

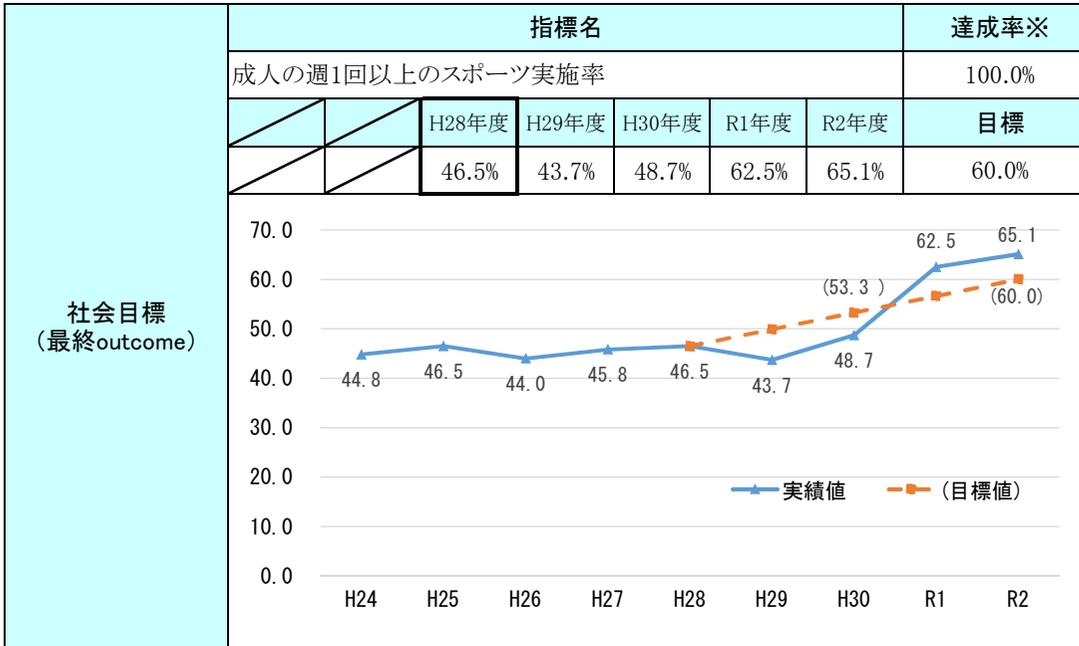
課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に実施した県民や文化団体向けのアンケート調査等の結果を踏まえ、課題やニーズを適切に把握しながら、条例に基づく文化芸術推進基本計画の策定を進めてまいります。 県立博物館・美術館では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和3年度に計画している全ての事業を見直します。その上で、三密防止などの対策が施せる事業について実施していきます。また、令和3年度以降については、新型コロナウイルス感染症に伴う新たな生活様式を踏まえて、地域の施設や産業と連携して県民の関心が高い分野や本県の魅力発信が効果的に図れる分野をテーマとする事業を計画していきます。 千葉県ホームページにより、文化活動ボランティア事業の説明や、マッチングまでの流れ等の情報を充実させます。 千葉県ホームページ等の様々な媒体を活用し、公認文化オリンピックアード等の文化プログラムの周知をより一層行います。 「千葉・県民音楽祭」では新たにダンス団体の出演者公募を行い、分野の拡大を図ります。 平成29年度から候補を募集し、平成30年度に選定した「ちば文化資産」の活用として、これをテーマとした絵画や写真作品を県民から募集する県民参加型の「ちばアート祭」やSNSによる情報発信など、イベントの充実やより一層のPRにより、文化にふれる県民の増加を図ります。
-------------------	---

総合計画政策評価帳票
(様式2-1)施策評価シート

【施策概要】

施策名	「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」の推進		施策主務課	教育庁教育振興部体育課	施策コード	I-4-②
総合計画の位置づけ	I 安全で豊かなくらしの実現		4 文化とスポーツで輝く社会づくり			
施策目標(定性目標)	全ての県民が多面にわたるスポーツの価値を共有しながら、健康で活力ある生活を送り、互いに支え合う「スポーツ立県ちば」の一層の推進を図ります。					
社会目標(定量目標)	成人の週1回以上のスポーツ実施率		—			
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	2,613,193	2,897,474	5,294,297	3,511,335	
	決算額(千円)	2,169,480	2,469,679	4,620,601	1,611,405	
施策内の主な取組	取組名			令和2年度予算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
	1	人生を豊かにするための運動・スポーツの推進		28,762	376	
	2	スポーツ環境の整備		556,284	284,581	
	3	競技力の向上		1,462,555	1,186,764	
	4	スポーツによる地域づくりの推進		1,010,534	58,114	
	5	東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進		453,200	81,570	
	施策計			3,511,335	1,611,405	

【目標の進捗状況】



※太枠で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値。 ※達成率=(令和2年度の実績値-目標設定時の現状値)÷(目標値-目標設定時の現状値) ※グラフ上の数値は端数処理により表記。

行政活動目標 及び 補助指標	進展度		
	(達成数/設定数) =	4 / 10	40.0%

【主な実施事項と成果】

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・10月のスポーツ推進月間を中心に、例年実施している、総合型地域スポーツクラブと小学校が連携した「スポーツで元気いっぱい！親子体験イベント」は令和2年度中止しましたが、総合型地域スポーツクラブ交流大会「スポネットちば」は、規模を縮小しながらも分散開催し、生涯スポーツの推進を図りました。 ・生涯スポーツ公認指導員等講習会を開催し、生涯スポーツを推進するための人材を養成するとともに、県立学校の体育施設の開放などを行いスポーツをする環境を整えました。 ・第76回国民体育大会冬季大会への出場選手の強化支援として、強化練習会・県外遠征等への補助を実施し、男女総合成績15位、女子総合成績15位を果たしました。一方で、全国障害者スポーツ大会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑み、中止となりました。 ・「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」事業では、12試合に2,000組の児童と保護者を公式戦に招待しました。また、「ちば夢チャレンジかなえ隊」派遣事業では、令和2年度は中止としましたが、各団体から自宅で出来る運動動画を提供していただき、県ホームページに掲載しました。 ・東京2020オリンピック・パラリンピックを目指す選手を指定強化し、競技力向上に向けた活動の支援を行いました。また、両大会の半年前PR展示や学校訪問など年間で38件のイベント・体験会等を実施し、県内開催8競技の普及及び大会に向けた機運の醸成を図りました。
-----------	--

【要因分析】

社会目標の 要因分析	成人の週1回以上のスポーツ実施率	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度実績値が65.1%となり、当初の目標値を上回りました。その要因としては、スポーツ庁によるスポーツの定義の変更※に合わせ、この調査におけるスポーツの定義も変更したこと、新型コロナウイルス感染症の影響により、運動の必要性を感じたことが大きいと見られます。生活様式の変化などにより単純に昨年度(及び目標設定時)と比較することはできませんが、定義の変更だけでなく、第12次千葉県体育・スポーツ推進計画における各施策の進捗なども実施率上昇の一因であると考えられます。 ・行政活動目標との関係では、延期になった東京オリンピック・パラリンピックの関連の啓発イベントが、リモート等で再開したことや、地域等、身近な環境で運動を行うようになったことなどが、成人の週1回以上のスポーツ実施率の上昇に寄与したものと考えられます。 <p>※スポーツ庁によるスポーツの定義: スポーツ庁は「日常生活において気軽に取り組めることもスポーツであるという認識を普及させる。(例)通勤時、外出時等の隙間時間にできるウォーキング、階段昇降もスポーツである」と定義を変更しました。(H30.9)</p>
---------------	------------------	--

【課題】

要因分析を 踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自らスポーツに参加することの楽しさや、スポーツが健康の保持増進・体力の維持向上に繋がることを啓発していくとともに、「いつでも・誰でも・どこでも・誰とでも」気軽にスポーツに取り組める環境を整備することが必要です。 ・総合型地域スポーツクラブは現在36市町に設立されていますが、地域でのスポーツ拠点として県下全域での設立が望ましいと考えます。そのために、設立・維持のためのサポートを継続的に行っていく必要があります。 ・東京オリンピック・パラリンピック関連の取組については、イベント実施先の事情にあわせた感染症対策を組み込んだ実施計画と実施時期の後ろ倒しに対応する必要があります。
----------------------------------	---

【取組方針】

課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの未設置市町村に対しては、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携してクラブ設置への機運を高めるとともに、県のホームページ等に、クラブ設立や運営にかかる事例を紹介したり、既設のクラブにおけるOJT(※)等の実践的なクラブマネジャーの養成に努めます。 ・東京オリンピック・パラリンピック関連の取組については、3密を避けること・消毒等の衛生対策をとること・予備日を設けることなどの対策を取りながら、イベントや学校訪問を実施し、県内開催競技への理解・関心を深め、改めて機運醸成を図る事業を実施します。また、内閣官房等と密接に連携しつつ、関係自治体と一致団結して、キャンプ受入れに向けて必要な準備を進めてまいります。 <p>※OJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)・・・仕事に必要な知識・技術を、意図的・計画的・継続的に指導し、処理能力などを育成すること。</p>
-------------------	--

I -4- ①ちば文化の創造と千葉県民のアイデンティティーの醸成

- 1 文化芸術を鑑賞・参加・創造する環境づくり
- 2 地域文化の保存・継承・活用による地域づくり
- 3 ちば文化の多様性と発信力強化による新たな価値の創造
- 4 ちば文化の総合的な推進のための支援・連携体制の構築
- 5 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたちばの文化力向上

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	1 文化芸術を鑑賞・参加・創造する環境づくり		取りまとめ担当課	環境生活部県民生活・文化課	取組コード	I-4-①-1
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	116,675	120,433	122,596	127,748	
	決算額(千円)	116,453	118,032	118,048	83,079	

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	補助指標 (中間outcome)	「千葉・県民芸術祭」参加人数	65,862人 (R元年度実績値)	68,000人 (R2年度目標値)	22,673人 (R2年度実績値)	
県立文化会館の入場者数		803,533人 (R元年度実績値)	増加を 目指します (R2年度目標)	138,902人 (R2年度実績値)		未達成
美術館・博物館入場者数		789,465人 (R元年度実績値)	950,000人 (R2年度目標値)	299,755人 (R2年度実績値)		未達成
行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	「千葉・県民芸術祭」実施事業数	31件 (R元年度実績値)	30件 (R2年度目標値)	15件 (R2年度実績値)		未達成
	「学校における音楽鑑賞事業」、「県民芸術劇場公演事業」の開催件数	98件 (R元年度実績値)	96件 (R2年度目標値)	30件 (R2年度実績値)		未達成

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																																							
行政活動目標 (output)	学校・社会教育施設等における出土文化財活用件数	128件 (R元年度実績値)	130件 (R2年度目標値)	40件 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>学校・社会教育施設等における出土文化財活用件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>120</td><td>120</td></tr> <tr><td>H22</td><td>127</td><td>120</td></tr> <tr><td>H23</td><td>124</td><td>124</td></tr> <tr><td>H24</td><td>150</td><td>124</td></tr> <tr><td>H25</td><td>137</td><td>155</td></tr> <tr><td>H26</td><td>127</td><td>150</td></tr> <tr><td>H27</td><td>99</td><td>130</td></tr> <tr><td>H28</td><td>115</td><td>120</td></tr> <tr><td>H29</td><td>117</td><td>120</td></tr> <tr><td>H30</td><td>118</td><td>120</td></tr> <tr><td>R1</td><td>128</td><td>120</td></tr> <tr><td>R2</td><td>40</td><td>130</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	120	120	H22	127	120	H23	124	124	H24	150	124	H25	137	155	H26	127	150	H27	99	130	H28	115	120	H29	117	120	H30	118	120	R1	128	120	R2	40	130	未達成
	年度	実績値	目標値																																										
H21	120	120																																											
H22	127	120																																											
H23	124	124																																											
H24	150	124																																											
H25	137	155																																											
H26	127	150																																											
H27	99	130																																											
H28	115	120																																											
H29	117	120																																											
H30	118	120																																											
R1	128	120																																											
R2	40	130																																											
	千葉フィールドミュージアム事業における観察会等件数	77件 (R元年度実績値)	80件 (R2年度目標値)	13件 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>千葉フィールドミュージアム事業における観察会等件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>81</td><td>80</td></tr> <tr><td>H22</td><td>76</td><td>80</td></tr> <tr><td>H23</td><td>78</td><td>80</td></tr> <tr><td>H24</td><td>82</td><td>80</td></tr> <tr><td>H25</td><td>80</td><td>80</td></tr> <tr><td>H26</td><td>81</td><td>80</td></tr> <tr><td>H27</td><td>89</td><td>80</td></tr> <tr><td>H28</td><td>90</td><td>80</td></tr> <tr><td>H29</td><td>98</td><td>80</td></tr> <tr><td>H30</td><td>80</td><td>80</td></tr> <tr><td>R1</td><td>77</td><td>80</td></tr> <tr><td>R2</td><td>13</td><td>80</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	81	80	H22	76	80	H23	78	80	H24	82	80	H25	80	80	H26	81	80	H27	89	80	H28	90	80	H29	98	80	H30	80	80	R1	77	80	R2	13	80	未達成
年度	実績値	目標値																																											
H21	81	80																																											
H22	76	80																																											
H23	78	80																																											
H24	82	80																																											
H25	80	80																																											
H26	81	80																																											
H27	89	80																																											
H28	90	80																																											
H29	98	80																																											
H30	80	80																																											
R1	77	80																																											
R2	13	80																																											

主な実施事項と 成果	<ul style="list-style-type: none"> 「千葉・県民芸術祭」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を予定していた29件の事業のうち14件が中止となり、「千葉県茶華道協会展」等15件の事業を実施しました。行事の中止等により、参加者数は22,673人となり、目標を達成できませんでした。 県立文化会館4館は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月14日から5月31日まで臨時休館をしており、6月以降も施設の利用制限により、予定していた自主事業の中止や貸館事業における催物の中止等の影響を大きく受けた結果、入場者数は前年度より大幅に減少しています。 令和2年度の県立美術館・博物館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教育普及事業(含フィールドミュージアム)および特別展・企画展の一部中止を余儀なくされました。また緊急事態宣言等の発令を受け、全館で4～5月、1～3月は臨時休館措置をとりました。これにより、美術館・博物館入場者数、千葉フィールドミュージアム事業件数ともに目標値を達成できませんでした。 出土文化財活用事業では、土器や石器など出土文化財を活用し、学校等への貸出や出前授業・体験学習を「土器ッと古代“宅配便”」事業として40件実施しました。また、学習指導要領に基づいて作製した「学習キット」の内容を精選し、千葉市教育委員会管内の公立小学校112校に配付し、歴史学習の教材として活用しました。
取組推進に 当たったの 問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 「千葉・県民芸術祭」については、一部の行事では参加人数が減少しています。背景として、広報の不足や各団体の会員の高齢化等により参加者が減少していることが要因と考えられます。また、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、新たな生活様式での事業実施方法についても検討していく必要があります。 県立文化会館については、継続的な利用は一定程度見込まれますが、今まで文化会館を利用したことのない県民にはその存在や実施されている事業が認知されていません。また、新型コロナウイルス感染症による影響は、今後も続くことが見込まれます。 県立美術館・博物館においては、展示会やイベントの成否が年間の入場者数の多寡に大きな影響を及ぼしています。また、県立美術館・博物館が行う全ての事業において新型コロナウイルス感染症に伴う新たな生活様式に対応した感染防止対策が求められています。 「学校・社会教育施設等における出土文化財活用事業件数」については、新型コロナウイルス感染症拡大による学校や社会教育施設での活動自粛の影響で前年度から大きく落ち込みました。
問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> 「千葉・県民芸術祭」については、県による広報のほか、各団体が行う広報が効果的になるよう取り組むことが必要です。また、新型コロナウイルス感染防止に配慮した事業の実施について検討し、各団体に情報提供等を行っていく必要があります。 県立文化会館については、継続的な利用者への対応に加え、文化会館へ来る機会のない県民へのアプローチが求められます。 県立美術館・博物館においては、新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、県民ニーズを踏まえた魅力ある事業を企画して、集客力を高めることが必要です。 出土文化財活用事業の「土器ッと古代“宅配便”」については、コロナ禍に対応したやり方の検討が必要です。
課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 「千葉・県民芸術祭」については、各団体と密に連絡調整を行い、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、参加者の安全を第一に考え、実施形態を検討していきながら、県や各団体の広報を積極的に行うなど更に県民の注目を集められるよう取り組み、可能な限り参加人数の増加を図ります。 各文化会館において、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、より多くの県民が鑑賞・体験・参加しやすい事業を企画、実施するとともに、チラシ等の印刷物やインターネット等様々な広報媒体を活用して、文化会館そのものや文化会館で行われる事業の周知を図ります。 県立博物館・美術館では、新型コロナウイルス感染症に伴う新たな生活様式を踏まえて、地域の施設や産業と連携して県民の関心が高い分野や本県の魅力発信が効果的に図れる分野をテーマとする事業を計画していきます。 出土文化財活用事業の「土器ッと古代“宅配便”」については、動画コンテンツの充実等により、コロナ禍での事業実施にも取り組みます。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	2 地域文化の保存・継承・活用による地域づくり		取りまとめ担当課	環境生活部県民生活・文化課	取組コード	I-4-①-2
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	493,530	494,250	500,700	496,228	
	決算額(千円)	495,944	494,043	543,066	474,985	

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	文化財探検隊の実施回数	2回 (R元年度実績値)	4回 (R2年度目標値)	0回 (R2年度実績値)		未達成
	発掘調査の遺跡見学会実施件数	1件 (R元年度実績値)	2件 (R2年度目標値)	0件 (R2年度実績値)		未達成
	美術館・博物館における伝統文化体験事業の参加者数	2,739人 (R元年度実績値)	2,000人 (R2年度目標値)	129人 (R2年度実績値)		未達成
	房総の郷土芸能の参加者数	889人 (R元年度実績値)	800人 (R2年度目標値)	0人 (R2年度実績値)		未達成

<p>主な実施事項と 成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各地に所在する文化財や名所等をめぐる「文化財探検隊」及び発掘調査現場や地域の遺跡・文化財を案内する「発掘調査の遺跡見学会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業を中止しました。「発掘調査の遺跡見学会」については、現地での説明会の代わりに、動画配信しました。 ・県立美術館・博物館では、伝統文化に関する各種の体験事業を実施しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大半の事業を中止せざるを得ませんでした。感染拡大防止策を講じた上で、関宿城博物館でワークショップ「お正月飾りを作ろう」、房総のむらで体験講座「伝統芸能入門」を実施し、129名の参加者を得ています。 ・令和2年度は千葉県東総文化会館で「房総の郷土芸能2020」を予定し、銚子市・旭市・芝山町・東庄町・匝瑳市から7つの保存団体が民俗芸能を上演する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業を中止しました。
<p>取組推進に 当たったの 問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化財探検隊」及び「発掘調査の遺跡見学会」は、新型コロナウイルス感染症拡大による活動自粛が影響しています。 ・「美術館・博物館における伝統文化体験事業」「房総の郷土芸能」では、生活様式、余暇の過ごし方の多様化によって、郷土芸能を含む伝統文化に対する関心が、高いとは言えないことが課題です。なお、「美術館・博物館における伝統文化体験事業」においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は3施設で6件の事業を中止しました。
<p>問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化財探検隊」及び「発掘調査の遺跡見学会」は、新型コロナウイルス感染症拡大による活動自粛の影響が大きいことから、コロナ禍に対応したやり方の検討が必要です。 ・「美術館・博物館における伝統文化体験事業」「房総の郷土芸能」の開催にあたっては、効果的な広報の方法や時期を工夫することともに伝統文化の魅力や継承していくことの意義を広く理解してもらう必要があります。また、「美術館・博物館における伝統文化体験事業」の実施に際しては、十分な新型コロナウイルス感染防止対策を施す必要があります。
<p>課題を踏まえた 具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化財探検隊」及び「発掘調査の遺跡見学会」については、動画コンテンツの充実等により、コロナ禍での事業実施にも取り組みます。 ・「美術館・博物館における伝統文化体験事業」については、継続的に実施していきますが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、テーマや内容、実施形態等を見直していきます。 ・「房総の郷土芸能」の広報・普及について、実行委員会において、電車中吊り広告の掲出区間、新聞広告の掲載時期やエリア、チラシの配布先やポスターの掲出場所等、有効な方法を検討します。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	3 ちば文化の多様性と発信力強化による新たな価値の創出		取りまとめ担当課	環境生活部県民生活・文化課	取組コード	I-4-①-3
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	103,753	128,652	125,807	134,323	
	決算額(千円)	96,113	124,998	118,968	62,471	

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																																			
	県民の日賛同行事の実施件数	321件 (R元年度実績値)	325件 (R2年度目標値)	126件 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>グラフデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>314</td><td>314</td></tr> <tr><td>H23</td><td>311</td><td>311</td></tr> <tr><td>H24</td><td>310</td><td>345</td></tr> <tr><td>H25</td><td>325</td><td>327</td></tr> <tr><td>H26</td><td>336</td><td>345</td></tr> <tr><td>H27</td><td>337</td><td>340</td></tr> <tr><td>H28</td><td>340</td><td>346</td></tr> <tr><td>H29</td><td>298</td><td>300</td></tr> <tr><td>H30</td><td>300</td><td>300</td></tr> <tr><td>R1</td><td>306</td><td>302</td></tr> <tr><td>R2</td><td>126</td><td>325</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	314	314	H23	311	311	H24	310	345	H25	325	327	H26	336	345	H27	337	340	H28	340	346	H29	298	300	H30	300	300	R1	306	302	R2	126	325
年度	実績値	目標値																																							
H22	314	314																																							
H23	311	311																																							
H24	310	345																																							
H25	325	327																																							
H26	336	345																																							
H27	337	340																																							
H28	340	346																																							
H29	298	300																																							
H30	300	300																																							
R1	306	302																																							
R2	126	325																																							

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> 多くの県民が千葉を愛する心をはぐくむため、6月15日の県民の日を中心に、県、市町村及び各種団体等に県民の日賛同行事の実施を呼びかけ、令和2年度は126件の施設の無料開放や記念イベントなどが実施されました。 令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、千葉県全体の魅力を網羅したイベントとして例年開催していた県民の日中央行事を中止したほか、各地域振興事務所のある10地域及び千葉・市原地域の合計11地域で県民の日実行委員会を組織して実施する地域行事についても中止しました。
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 県民の日賛同行事を民間団体等から募集し、千葉県ホームページで広報を行いました。しかしながら、応募団体が固定化されてきていることから、新規参加を促す取組が必要です。 県民の日中央行事や地域行事の開催は長年の取組により定着してきました。今後も県を取り巻く環境を踏まえてテーマ・企画を検討していく必要があります。また、地域行事は、形態として各地域ともキャンペーン等が多くなっているため、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しつつ、内容面で地域ごとの特色を出したものとしていく必要があります。
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> 様々な広報媒体を活用して、今後も賛同行事への参加を広く呼びかける必要があります。 千葉への愛着を深めるために、県を取り巻く環境や地域ごとの特色を踏まえて企画を検討し、千葉の多様な魅力を継続的にPRしていく必要があります。
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 県で保有している広報媒体の更なる活用を図るとともに、企業等に対し賛同行事に参加した場合の広報効果等をPRしていきます。 県民の日の行事だけでなく、県の文化プログラム事業(「千葉・県民音楽祭」「ちばアート祭」「ちば文化資産」)とも連携し、千葉の魅力を発信する機会の拡大に努めます。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	4 ちば文化の総合的な推進のための支援・連携体制の構築		取りまとめ担当課	環境生活部県民生活・文化課	取組コード	I-4-①-4
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	1,820,448	1,870,266	1,961,289	1,924,251	
	決算額(千円)	1,773,570	1,839,110	1,877,239	1,891,517	

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	文化活動ボランティア登録件数	54件 (R元年度実績値)	54件 (R2年度目標値)	52件 (R2年度実績値)		未達成

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> 文化活動を通してのボランティアを企画している者と、ボランティア活動の受け入れを希望する者とを結びつける手伝いなど、文化芸術活動を支える「文化活動ボランティアネットワーク事業」については事業内容をホームページで広報することにより、登録件数は52件となりました。令和2年度は、登録件数・利用件数を増やすため、千葉県ホームページをより見やすいように整理したり、民間ホームページ等と連携して広報しました。
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 新規団体に登録いただきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を休止する団体もあったため、文化活動ボランティアの登録数は前年度に比べて減少しました。年度によっては休止する団体等が多く、登録数が伸び悩むこともあります。
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> 文化活動ボランティアの登録件数を今後も増加させるためには、事業の広報を行い、文化活動ボランティアという事業自体を広く認知してもらうことで、新規団体を開拓していく必要があります。
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県ホームページにより、文化活動ボランティア事業の説明や、マッチングまでの流れ等の情報を充実させます。 文化活動ボランティアそのものについて広く認識してもらえるよう、千葉県ホームページのほか様々な機会を捉えて広報していきます。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	5 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたちばの文化力向上		取りまとめ担当課	環境生活部県民生活・文化課	取組コード	I-4-①-5
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	729,765	740,067	771,380	995,622	
	決算額(千円)	720,327	734,136	766,537	742,078	

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	補助指標 (中間outcome)	市町村立文化会館の入場者数	5,557,680人 (R元年度実績値)	5,800,000人 (R2年度目標値)	1,320,063人 (R2年度実績値)	
行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	文化プログラム(千葉・県民音楽祭/ちばアート祭)の一般公募参加者数	688人 (R元年度実績値)	740人 (R2年度目標値)	801人 (音楽祭0人 アート祭801点) ※アート祭は作品応募 点数でのカウント。同一 作者による複数応募含 む。		達成

主な実施事項と 成果	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック・パラリンピック大会の機運醸成のため、県民参加型の文化イベントとして、「千葉・県民音楽祭」を平成29年度から、「ちばアート祭」を令和元年度から実施しており、令和2年度においても引き続き実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染予防のため「千葉・県民音楽祭」は中止とし、「ちばアート祭」では、「ちば文化資産」をテーマとした作品を県民から募集し県立美術館等に展示する絵画・写真公募展のみ新型コロナウイルス感染症対策を図り実施しました。
取組推進に 当たったの 問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 市町村立文化会館の入場者数の増加に当たっては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けます。 新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントの中止や規模縮小、オーディションや練習会の中止などの影響が出ています。新型コロナウイルス感染症対策に伴う外出自粛などの影響で、写真作品応募数は減少傾向にあります。
問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> 市町村立文化会館の入場者数の増加及び文化プログラムの一般公募参加者数の増加のいずれの目標においても、施設管理者及び利用者双方において、イベントや練習活動等の実施にあたり、3密防止や消毒・検温を始め、業種別ガイドライン等に応じて新型コロナウイルス感染症対策を徹底する必要があります。また、イベントの性質や内容ごとに、最新の感染状況に応じて実施の可否や対策を検討する必要があります。その上で、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中でも、より多くの県民に文化や芸術に興味を持っていただき、文化会館の利用や作品制作等を促す仕組みが必要です。
課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 市町村立文化会館の入場者数を増やすため、県ホームページにおける情報発信を継続するほか、「beyond2020」プログラムの取得促進を行うことにより、国や県のホームページへの情報掲載の機会を増やし、各館のイベント情報の周知を図ります。(【参考】beyond2020はR3年度中は募集。) 「千葉・県民音楽祭」については、会場となる施設の感染症対策マニュアル及び公益社団法人全国公立文化施設協会の「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施するほか、自宅等でも鑑賞できるようオンライン配信を行います。「ちばアート祭」については、新型コロナウイルス感染症対策を講じることが難しいコンテンツや飲食等を伴う取組は中止し、その他のコンテンツについては東京オリンピック・パラリンピック大会や聖火リレー等他事例での対策を参考にしながら、実施に向け検討を行うとともに、作品のオンライン展示も検討します。また、授業等が再開した学校やアトリエ等を通じて作品を募集することで、身近な地域の文化や魅力を再認識していただくよう取り組むとともに、観光部局によるWEB・SNS上のキャンペーンや商業施設等と連携し幅広く周知を行います。

I-4-②「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」の推進

- 1 人生を豊かにするための運動・スポーツの推進
- 2 スポーツ環境の整備
- 3 競技力の向上
- 4 スポーツによる地域づくりの推進
- 5 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	1 人生を豊かにするための運動・スポーツの推進		取りまとめ担当課	教育庁教育振興部体育課	取組コード	I-4-②-1
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	17,900	34,942	18,072	28,762	
	決算額(千円)	17,729	34,807	17,557	376	

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																																																
	補助指標 (中間outcome)	週1回程度のスポーツ実施率(世代別)	20~39歳58.2% 40~59歳58.7% 60歳以上86.5% (R元年度実績値)	増加を目指します (R2年度目標)	20~39歳63.3% 40~59歳62.5% 60歳以上85.3% (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>20~39歳スポーツ実施率</caption> <tr><th>年度</th><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>33.6</td><td>36.0</td><td>38.4</td><td>37.7</td><td>43.2</td><td>58.2</td><td>63.3</td></tr> </table> <table border="1"> <caption>40~59歳スポーツ実施率</caption> <tr><th>年度</th><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>41.2</td><td>41.4</td><td>41.4</td><td>37.9</td><td>41.8</td><td>58.7</td><td>62.5</td></tr> </table> <table border="1"> <caption>60歳以上スポーツ実施率</caption> <tr><th>年度</th><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>74.3</td><td>75.4</td><td>75.4</td><td>76.8</td><td>80.2</td><td>86.5</td><td>85.3</td></tr> </table>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	33.6	36.0	38.4	37.7	43.2	58.2	63.3	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	41.2	41.4	41.4	37.9	41.8	58.7	62.5	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	実績値	74.3	75.4	75.4	76.8	80.2	86.5	85.3
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2																																															
実績値	33.6	36.0	38.4	37.7	43.2	58.2	63.3																																															
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2																																															
実績値	41.2	41.4	41.4	37.9	41.8	58.7	62.5																																															
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2																																															
実績値	74.3	75.4	75.4	76.8	80.2	86.5	85.3																																															
行政活動目標 (output)	障害者スポーツ競技体験会への参加者人数	2,261人 (R元年度実績値)	増加を目指します (R2年度目標)	977人 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>障害者スポーツ競技体験会参加者人数</caption> <tr><th>年度</th><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr> <tr><th>実績値</th><td>717</td><td>2,261</td><td>977</td></tr> </table>	年度	H30	R1	R2	実績値	717	2,261	977	未達成																																								
年度	H30	R1	R2																																																			
実績値	717	2,261	977																																																			

<p>主な実施事項と 成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10月をスポーツ推進月間とし、総合型地域スポーツクラブと小学校が連携した「スポーツで元気いっぱい！親子体験イベント」を例年行っていますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止しました。また、総合型地域スポーツクラブ交流大会「スポネットちば」については、規模を大幅に縮小し、分散開催としました。 ・スポーツを身近な地域で親しむことを目的とした、地域住民により運営される総合型地域スポーツクラブは、令和3年3月末現在、36市町に86クラブが設立されています。 ・障害者スポーツ競技団体が実施する競技体験会等の取組みを支援することで、障害のある人もない人も障害者スポーツに触れる機会を創出し、競技の認知度向上や競技人口の増加を図りました。令和2年度は、延べ13競技40日程で競技体験会を開催し、977人が参加しました。
<p>取組推進に 当たったの 問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て・働き世代(20～59歳)のスポーツ実施率は、上昇傾向にあります。しかし、スポーツに関心はあるが「忙しくて時間がない」「疲れていて体力的余裕がない」という理由で、依然として高齢者より低く、国が目標としている数値(65%「スポーツ基本計画H24」)までは届いていない状況が続いています。 ・地域のスポーツ拠点である総合型地域スポーツクラブは、会員の高齢化や若い年代の人材不足、クラブの必要性についての周知不足などの問題があり、未設置の市町村があります。 ・今年度、規模を縮小して分散開催とした総合型地域スポーツクラブ交流大会「スポネットちば」は、参加クラブが広がっていないことや参加者の高齢化等が問題となりつつあります。 ・競技体験会実施の効果を向上させるためには、障害の有無を問わず多くの方に参加いただくことが効果的ですが、参加者が多く集まらない場合があります。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、競技体験会等の開催や集客が困難なことが多いです。
<p>問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ実施率の向上のためには、自らスポーツに参加することの楽しさや、スポーツが健康の保持増進・体力の維持向上に繋がることを啓発していくとともに、「いつでも・誰でも・どこでも・誰とでも」気軽にスポーツに取り組める環境の整備が必要です。また、子育て・働き世代には、運動の習慣化に繋がる魅力あるプログラムをどのように提供ができるかが課題となります。 ・総合型地域スポーツクラブの育成率※は現在 66.7%となっており、育成率を上げるためには、クラブの必要性について積極的な周知を行い、県下全域にクラブを設立することが必要です。 ・総合型地域スポーツクラブ交流大会への参加クラブ・参加者数を増やすためには、既設の各クラブが運営しやすい環境が必要です。 ・より多くの方に参加いただくため、競技体験会等が開催されること、競技の趣旨等を効果的に広報・周知する必要があります。 ・競技体験会の開催に当たっては、引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染対策が必要なことから、安全に開催・体験ができる環境を整備する必要があります。 <p>※総合型地域スポーツクラブの育成率:県内全市町村数に対する総合型地域スポーツクラブが設立されている市町村数の割合。</p>
<p>課題を踏まえた 具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「千葉県スポーツ情報センター」と連携し、県立スポーツ施設の無料開放等によるスポーツを行うことのできる場の提供、「スポーツ立県ちば推進月間」関連イベントの実施や紹介等の機会の提供、スポーツイベントや公共スポーツ施設利用に関する情報の提供等を行っていきます。また、親子体験等のイベント(例年県内約10ヵ所、約800名参加)は、開催する地域・期間・回数を増やす等により、参加者のその後の運動習慣につなげていきます。 ・総合型地域スポーツクラブの未設置市町村に対して県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携してクラブ設置への機運を高めるとともに、県のホームページ等にクラブ設立や運営にかかる事例を紹介するなどの情報提供を行います。 ・総合型スポーツクラブの運営をサポートするために、既設のクラブにおける実践的なクラブマネージャーの養成に努めます。 ・障害者スポーツを推進している総合型地域スポーツクラブの取組を、他のクラブへ紹介する研修会を企画し、障害者スポーツのさらなる普及・振興を図ります。 ・競技体験会について、補助金交付先である(一社)千葉県障がい者スポーツ協会のホームページや広報誌を活用して、広く周知・広報に努めるとともに、県ホームページや県民だより等への掲載も検討することで、より多くの方が競技体験会等に参加していただけるよう努めます。 ・各競技団体やスポーツ庁等が策定する新型コロナウイルス感染症対策に係るガイドラインの周知及び遵守を徹底します。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	2 スポーツ環境の整備		取りまとめ担当課	教育庁教育振興部体育課	取組コード	I-4-②-2
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	696,350	868,159	3,191,390	556,284	
	決算額(千円)	335,282	497,757	2,634,467	284,581	

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	公認スポーツ指導者登録数	927人 (R元年度実績値)	960人 (R2年度目標値)	922人 (R2年度実績値)		未達成
総合型地域スポーツクラブ認知度	15.1% (R元年度実績値)	17.5% (R2年度目標値)	14.6% (R2年度実績値)		未達成	

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツ公認指導員等講習会を開催し、スポーツ指導者(千葉県生涯スポーツ公認指導員)の養成を行いました。例年、養成した指導者の資質の向上を図るため、認定スポーツ指導者研修会を開催していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は中止としました。 地域のスポーツ指導者に最新のスポーツ理論や実技指導に触れてもらうことを目的とした地域スポーツ指導者研修会を、例年県内5地区輪番で開催しています。令和2年度は南房総教育事務所管内にて開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止としました。 スポーツ活動を通じて地域住民との交流を生む場となっている県立学校の体育施設開放を69校において行いました。
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツ指導者に対する各種研修会や講習会への受講者数が少なく、各地区の課題や住民のニーズへの対応が十分とは言いがたいです。 県立学校体育施設開放事業は、学校部活動との調整や体育施設開放運営委員会の設置、さらに管理指導員の配置等が必要なことから、地域スポーツの推進に必要なことと感じながらも実施できない学校が約46%ある、という現状です。 総合型地域スポーツクラブについては、クラブの必要性についての周知不足などの問題があり、未設置の市町村があります。
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域におけるスポーツ推進を図るためには、正しい知識を持った生涯スポーツ指導者の存在が不可欠です。従って、スポーツにおける最新のスポーツ理論や実技指導に触れることができる各種研修会や講習会への受講者数を増やす必要があります。 県立学校体育施設開放事業では、いつでもスポーツが行える場を提供できるように、さらなる開放校の増加が必要です。 総合型地域スポーツクラブを県下全域に設立することが、クラブの認知度を上げることに繋がると考えます。
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県広域スポーツセンター・県スポーツ協会・市町村(スポーツ推進委員)の3者間における連絡・調整を十分に行い、生涯スポーツ指導者に対する各種講習会の実施時期やより効果的な広報の方法を検討し、参加しやすい時期やより分かりやすい募集要項の作成に努め、参加者数の増加を目指します。 県立学校体育施設開放事業では開放校数の増加に向け、各校の運営委員会の委員長に対して、開放の趣旨を理解願うとともに、地域との相互理解と連携強化を進め利用者が利用しやすい体制づくりを行うよう依頼します。 未設置市町村を中心に総合型地域スポーツクラブの設立をサポートし、県民により身近な存在とすることで認知度の向上を図ります。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	3 競技力の向上		取りまとめ担当課	教育庁教育振興部体育課	取組コード	I-4-②-3
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	1,553,443	1,528,739	1,477,601	1,462,555	
	決算額(千円)	1,516,098	1,509,156	1,452,659	1,186,764	

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	国民体育大会入賞者数	310人 (R元年度実績値)	309人以上 (R2年度目標値)	(大会中止) (R2年度実績値)		—
全国障害者スポーツ大会参加者が金メダルを獲得した割合	(大会中止) (R元年度実績値)	増加を目指します (R2年度目標)	(大会中止) (R2年度実績値)		—	

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> 第75回国民体育大会本大会は中止となりました。第76回国民体育大会冬季大会はスケート競技及びアイスホッケー競技が実施されました。冬季大会出場選手の強化支援として、強化練習会・強化合宿・県外遠征・招聘試合等を実施し、冬季の男女総合成績は74点 15位、女子総合成績28点 15位でした。 強化練習等に必要競技用具等の整備事業を5競技団体で行い、競技力向上のための環境整備を行いました。 全国障害者スポーツ大会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑み、中止となりました。
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 競技団体における選手育成担当者の世代交代が進みつつあり、若手指導者の育成が問題です。 マルチコンディショニングサポート事業については、医・科学相談、医・科学サポートスタッフ派遣の利用が伸び悩んでいます。 障害者スポーツは、競技者の発掘と、競技団体組織の充実や活動をする施設等の環境整備が課題です。
問題点を踏まえた目標達成に必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> 競技成績の維持・向上に向けて、各競技団体の強化スタッフや、普及育成スタッフ等の人材確保及び育成が急務となっています。 マルチコンディショニングサポート事業については、事業内容の重要性及び必要性を指導者が十分理解するとともに、事業そのもののさらなる周知が必要です。 障害者スポーツについては、競技者の発掘や競技団体との体制整備について、県と各関係団体との連携が必要です。
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 各競技団体スタッフの充実に向けて、指導者の養成・確保・資質向上に資する強化コーチを育成するとともに、コーチ・スポーツドクター・アスレチックトレーナーの派遣事業にも力を入れていきます。 各種会議・大会・研修会等においてマルチコンディショニングサポート事業の重要性及び必要性をアピールするとともに、ホームページ等を通じて事業の周知を行います。 障害者スポーツについては、県と関係団体との連携を強化し競技者の発掘や環境整備を行っていきます。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	4 スポーツによる地域づくりの推進		取りまとめ担当課	教育庁教育振興部体育課	取組コード	I-4-②-4
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	59,100	151,934	139,434	1,010,534	
	決算額(千円)	55,626	129,897	125,477	58,114	

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	トップ・プロチームと連携した地域割合	77.8% (R元年度実績値)	90.0% (R2年度目標値)	77.8% (R2年度実績値)		未達成
スポーツ推進委員の地区イベントに関わっている割合	70.6% (R元年度実績値)	72.8% (R2年度目標値)	52.0% (R2年度実績値)		未達成	

主な実施事項と成果	<p>・「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」事業では、千葉ロッテマリーンズが規模を縮小し、12試合に2,000組の児童と保護者を公式戦に招待しました。千葉ジェッツふなばし(6試合644組を予定)とジェフユナイテッド市原・千葉は新型コロナウイルス感染症の影響で中止としました。また、「ちば夢チャレンジかなえ隊」派遣事業では、例年、県内トップ・プロチーム8団体に所属する選手やOB、コーチ等を講師として小学校10校に派遣し、体育・スポーツ活動での交流を図っています。令和2年度は中止としましたが、各団体から自宅で作れる運動動画を提供していただき、県ホームページに掲載しました。</p>
取組推進に当たった問題点等	<p>・トップ・プロスポーツ団体との連携事業である「ちば夢チャレンジ☆パスポートプロジェクト」「ちば夢チャレンジかなえ隊」では、地域や派遣できる学校が限られるなど、多様なニーズへの対応が十分とは言えません。</p> <p>・スポーツ推進委員が地区イベントに関わっている割合は令和2年度は新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止により減少しました。現状としては積極的に関わっているとは言えない状況です。</p>
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<p>・「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」「ちば夢チャレンジかなえ隊」では、多くの子どもたちにプロスポーツの素晴らしさに触れてもらうため、さらにトップスポーツクラブとの連携を推進する必要があると考えます。</p> <p>・スポーツ推進委員が、本来期待されている地域スポーツのコーディネーターとしての役割を果たせるようになることが必要と考えます。</p>
課題を踏まえた具体的な取組	<p>・「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」「ちば夢チャレンジかなえ隊」では、学校や保護者の要望の把握と、学校行事とプロスポーツ団体の競技シーズンのすり合わせを行い、よりよい事業展開をすることで、「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進を図っていきます。</p> <p>・スポーツ推進委員が、市町村が実施する行事・イベントの企画・運営を主体的に担っていけるよう、積極的に働きかけを行っていきます。</p>

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	5 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進		取りまとめ担当課	教育庁教育振興部体育課	取組コード	I-4-②-5
予算額と決算額	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額(千円)	286,400	313,700	467,800	453,200	
	決算額(千円)	313,700	298,062	390,441	81,570	

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																				
	日本代表やナショナルチームのメンバーに入った県障害者アスリート強化指定選手数(パラリンピック)	48人 (R元年度実績値)	45人 (R2年度目標値)	56人 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>選手数推移表</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>34</td><td>40</td></tr> <tr><td>H29</td><td>52</td><td>40</td></tr> <tr><td>H30</td><td>47</td><td>45</td></tr> <tr><td>R1</td><td>48</td><td>45</td></tr> <tr><td>R2</td><td>56</td><td>45</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H28	34	40	H29	52	40	H30	47	45	R1	48	45	R2	56	45	達成		
	年度	実績値	目標値																							
	H28	34	40																							
	H29	52	40																							
H30	47	45																								
R1	48	45																								
R2	56	45																								
開催競技やオリンピック・パラリンピックに関する普及・啓発イベントの開催件数(累計)	114件 (R元年度実績値)	119件 (R2年度目標値)	128件 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>開催件数推移表</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>3</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>15</td><td>15</td></tr> <tr><td>H29</td><td>42</td><td>30</td></tr> <tr><td>H30</td><td>77</td><td>74</td></tr> <tr><td>R1</td><td>114</td><td>98</td></tr> <tr><td>R2</td><td>128</td><td>119</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H27	3	-	H28	15	15	H29	42	30	H30	77	74	R1	114	98	R2	128	119	達成
年度	実績値	目標値																								
H27	3	-																								
H28	15	15																								
H29	42	30																								
H30	77	74																								
R1	114	98																								
R2	128	119																								
ナショナルチームのキャンプ誘致数(累計)	28チーム (R元年度実績値)	増加を目指します (R2年度目標)	29チーム (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>誘致数推移表</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>25</td></tr> <tr><td>H28</td><td>25</td></tr> <tr><td>H29</td><td>25</td></tr> <tr><td>H30</td><td>25</td></tr> <tr><td>R1</td><td>28</td></tr> <tr><td>R2</td><td>29</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	H27	25	H28	25	H29	25	H30	25	R1	28	R2	29	達成							
年度	実績値																									
H27	25																									
H28	25																									
H29	25																									
H30	25																									
R1	28																									
R2	29																									
スポーツコンシェルジュが支援し、事前キャンプやスポーツイベントの誘致につながった件数(累計)	21件 (R元年度実績値)	増加を目指します (R2年度目標)	22件 (R2年度実績値)	<table border="1"> <caption>誘致件数推移表</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>7</td></tr> <tr><td>H30</td><td>16</td></tr> <tr><td>R1</td><td>21</td></tr> <tr><td>R2</td><td>22</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	H27	1	H28	3	H29	7	H30	16	R1	21	R2	22	達成							
年度	実績値																									
H27	1																									
H28	3																									
H29	7																									
H30	16																									
R1	21																									
R2	22																									

<p>主な実施事項と成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピック出場を目指す選手の競技力向上に向けた活動を支援するため、オリンピック65名、パラリンピック61名の特別強化指定を行い、日本代表や国際大会への出場を果たしました。さらに、東京2020オリンピックに17名の選手(男子:マラソン・50km競歩・柔道100kg級・20km競歩・200m自由形水泳・体操・サーフィン・水球、女子:アーティスティックスイミング・空手・ボクシング・自転車・ソフトボール・200m個人メドレー水泳・レスリング50kg級)が、パラリンピックに17名の選手(男子:テニス・マラソン・5000m・やり投げ・1500m・ボッチャ2名・ゴールボール・アーチェリー2名・卓球・水泳3名・バドミントン、女子:柔道・バドミントン)が内定するなど、優秀な成績を収める選手を輩出することができました。 ・県スポーツコンシェルジュの支援により、新たに県内1市において事前キャンプの合意が実現しました。 ・県内開催8競技の普及及び大会に向けた機運の醸成を図るため、競技団体・市町村・大学・経済団体等と連携し、両大会の半年前のPR展示や学校訪問など年間で14件のイベント・体験会等を実施しました。
<p>取組推進に当たった問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・強化指定の事業は選手たちを支援することが目的ですが、怪我や不調により実績が残せなかった選手への救済ができない現状があります。 ・事前キャンプ受入れにあたっては新型コロナウイルス感染症対策を行う必要がありますが、国が示す対策が確定していないため、受入自治体の対応及び各国との交渉が進まないという問題点があります。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたイベント・体験会等を計画的に行うことができない現状があります。
<p>問題点を踏まえた目標達成等に必要課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピックへ一人でも多くの千葉県ゆかりの選手を輩出するという目標達成のためには、これまでの成果を継承するとともに、実績が出なかった選手がコンディションを管理するためのコーチを雇ったり、けがの防止軽減を図るための医療費を補助する必要があると考えます。 ・イベント実施先の事情にあわせた感染症対策を組み込んだ実施計画と実施時期の後ろ倒しに対応する必要があります。
<p>課題を踏まえた具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選手(特に障害者アスリート)が日々の練習を行う上で必要な個人で依頼するコーチやトレーナー等への経済的支援や医療費の全額補助を新たに検討します。また、指定選手の状況(成績・コンディション等)を把握するとともに、有力な選手に対しても常に状況を把握し、競技団体との連絡を密にし調整を行っていきます。 ・内閣官房等と密接に連携しつつ、関係自治体と一致団結して、キャンプ受入れに向けて必要な準備を進めてまいります。 ・3密を避けること、消毒等の衛生対策をとること、予備日を設けることなどの対策を取りながら、イベントや学校訪問を実施し、県内開催競技への理解・関心を深め、改めて機運醸成を図る事業を実施します。